

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第17週、第18週の発生動向

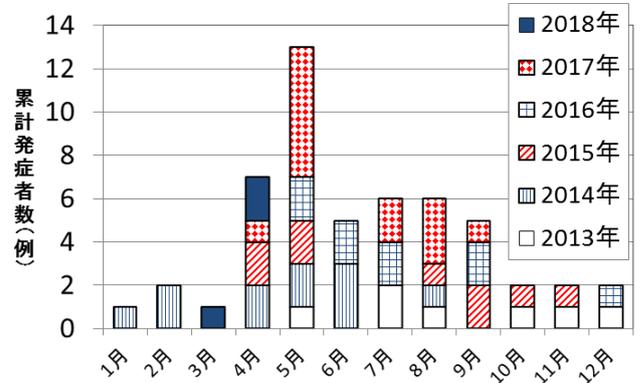
トピックス

・**手足口病（定点把握対象疾患）**：第17週（4/23～4/29）の県内の定点当たり報告数は5.2で、今年初めて流行警報レベル開始基準値（5.0）を超えた。2017年と比較して5週間早くなっている。詳細後述。

・**風しん（全数把握対象疾患）**の報告が1例あった。（2016年45週以来の報告）宮崎市保健所管内からの報告で、20歳代女性、ワクチン接種歴は不明である。

・**重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数把握対象疾患）**の報告が宮崎市保健所管内から1例あった。患者は60歳代男性で、発症は4月下旬であり、ダニの刺し口が有る。県内での報告は今年3例目で、累計52例（平成25年3月届出開始以降）となった。

県内のSFTS月別発症者数（届出開始以降）



県内のSFTS年齢別報告数（届出開始以降）

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	14	19	12	3

全数報告の感染症（18週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：報告なし。
 4類感染症：A型肝炎3例、重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例。
 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、破傷風1例、百日咳28例、風しん1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	咳
			70歳代	男	肺結核	咳
		延岡	50歳代	男	腸結核	便潜血陽性
			80歳代	女	肺結核	発熱、倦怠感
日南	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱		
4類	A型肝炎	宮崎市	50歳代	男	—	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
		日向	30歳代	女	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝叩打痛、濃縮尿
	60歳代		女	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常	
	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口
レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎	
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	60歳代	男	—	肺炎、菌血症
	破傷風	延岡	80歳代	女	—	開口障害、ワクチン接種歴：無
	風しん	宮崎市	20歳代	女	検査診断例	発疹、発熱、頭痛、ワクチン接種歴：不明

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群						症状	
			0～4歳	5～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代		50歳代
5類 百日咳	宮崎市	8例	2	1		1	2	1	1	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ、嘔吐、チアノーゼ、無呼吸発作
	日南	2例			2					
	高鍋	17例	3	5	9					
	日向	1例		1						

□ 定点把握の対象となる5類感染症

● 第17週

定点医療機関からの報告総数は1,093人(定点あたり31.6)で、前週比113%と増加した。なお、前週(第16週)に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は特にない。

● 第18週

定点医療機関からの報告総数は707人(定点あたり21.8)で、前週比69%と減少した(連休の休診含む)。なお、前週(第17週)に比べ増加した主な疾患は流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

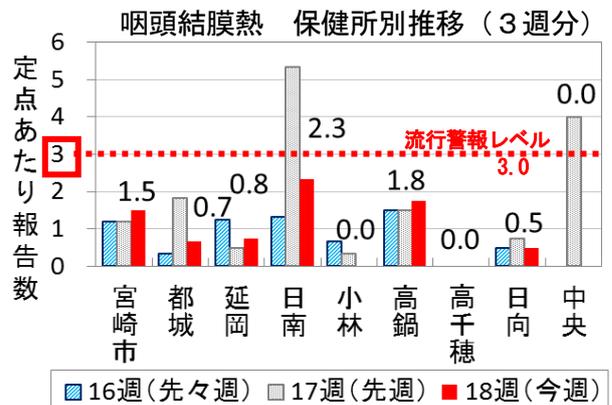
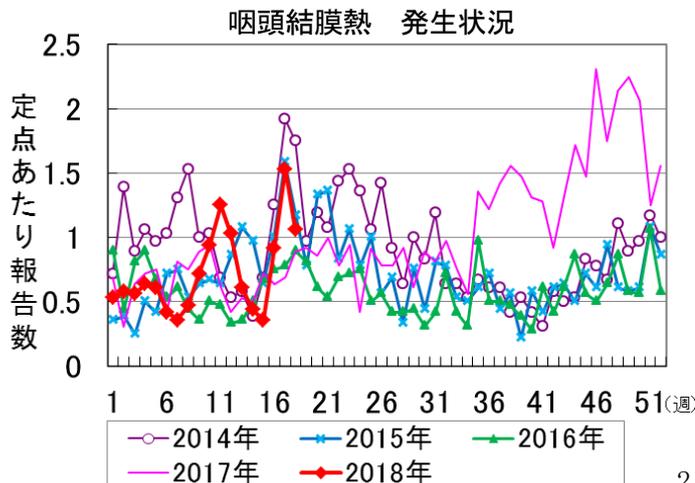
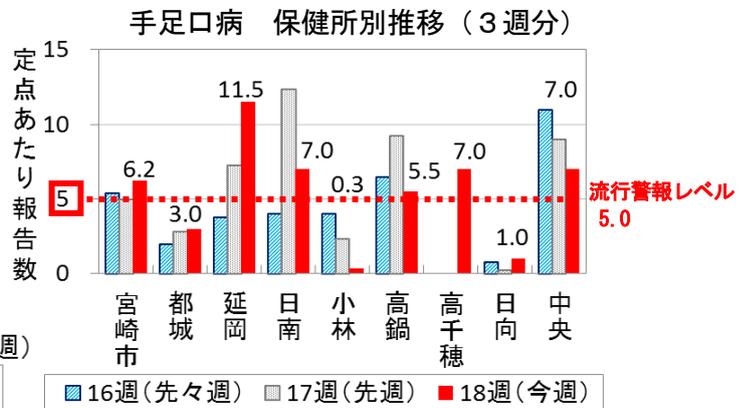
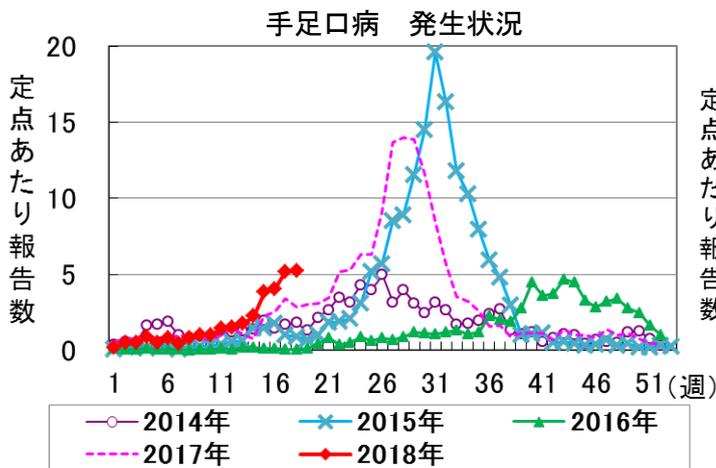
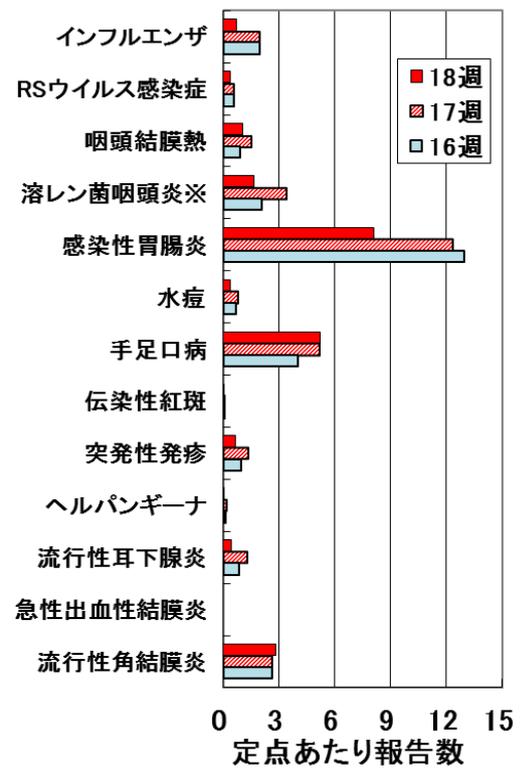
【手足口病】

報告数は188人(5.2)で、前週(第17週)比101%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約4.6倍である。延岡(11.5)、日南、高千穂、中央(各7.0)、宮崎市(6.2)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約8割を占めている。

【咽頭結膜熱】

報告数は38人(1.1)で、前週(第17週)比69%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)とほぼ同率である。日南(2.3)、高鍋(1.8)、宮崎市(1.5)保健所からの報告が多く、1~3歳が全体の6割以上を占めている。

《3週間の推移》



★基幹定点からの報告★

● 第17週

- マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があり、5～9歳であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は5例で、宮崎市(2例)、日南、高鍋、日向(各1例)保健所からの報告である。いずれも5歳未満であり、病原体の群別は不明である。

● 第18週

- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は2例で、宮崎市、日向(各1例)保健所からの報告である。0～4歳、5～9歳(各1例)であり、いずれも病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	17週	18週
宮崎市	手足口病(5.0)	手足口病(6.2)
都城	なし	なし
延岡	手足口病(7.3)	手足口病(11.5)
日南	咽頭結膜熱(5.3)、手足口病(12.3)、 流行性耳下腺炎(13.3)	手足口病(7.0)、 流行性耳下腺炎(4.3)
小林	感染性胃腸炎(25.0)	なし
高鍋	手足口病(9.3)	手足口病(5.5)
高千穂	なし	手足口病(7.0)
日向	なし	なし
中央	咽頭結膜熱(4.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(40.0)、 手足口病(9.0)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(15.0)、 手足口病(7.0)

- * 流行警報レベル開始基準値 *
- ・咽頭結膜熱(3.0)
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
 - ・感染性胃腸炎(20.0)
 - ・手足口病(5.0)
 - ・流行性耳下腺炎(6.0)
- * 流行注意報レベル基準値 *
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成30年5月7日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ETEC (O136:H16)	40歳代	女	2018.04.16	発熱(38.8℃)、下痢、腹痛、嘔吐、嘔気	便	2018.05.01

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2018.02.27	インフルエンザA型、40.0℃、下気道炎、咳	咽頭ぬぐい液	2018.04.25
インフルエンザウイルスAH3	70歳代	女	2018.03.01	インフルエンザA型、38.8℃、上気道炎(咽頭痛)、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.04.25
インフルエンザウイルスAH3	1～4歳	女	2018.03.26	インフルエンザA型、39.3℃	鼻汁	2018.05.02
インフルエンザウイルスAH3	1～4歳	女	2018.03.26	インフルエンザA型、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2018.05.02
インフルエンザウイルスAH3	1～4歳	女	2018.04.16	インフルエンザA型、40.0℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.02
インフルエンザウイルスB (山形系統)	1～4歳	女	2018.02.27	インフルエンザB型、38.5℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2018.04.25
インフルエンザウイルスB (山形系統)	10歳代	女	2018.02.28	インフルエンザB型、38.9℃、頭痛	鼻汁	2018.04.25
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5～9歳	女	2018.03.03	インフルエンザB型、39.6℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2018.04.25
インフルエンザウイルスB (山形系統)	10歳代	女	2018.03.19	インフルエンザB型、39.0℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.04.25
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5～9歳	女	2018.03.22	インフルエンザB型、40.0℃、頭痛	咽頭ぬぐい液	2018.04.25
インフルエンザウイルスB (山形系統)	60歳代	女	2018.03.24	インフルエンザB型、38.0℃、頭痛、 上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.02
インフルエンザウイルスAH1 pdm09	40歳代	男	2018.03.29	インフルエンザA型、38.3℃、上気道炎(咽頭痛)、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.02
エコーウイルス9型	5～9歳	女	2018.03.13	エコーウイルス感染症疑い、38.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.04.20
風しんウイルス	20歳代	女	2018.04.30	麻しん疑い、37.9℃	咽頭ぬぐい液 血液	2018.05.01

○麻しん疑いの成人女性から、風しんウイルスが検出された。風しんウイルスには1型と2型があり、1型は1a～1jの10遺伝子型に分類され、2型は2A～2Cの3遺伝子型に分類される。全国の風しんウイルス分離・検出状況をみると、2Bが最も多く検出されており、次いで1Eとなっている。2013年の流行以来、風しんウイルスの検出数は年間10例前後であるが、風しんの排除達成には至っていないため、ワクチン接種の徹底などが重要となる。

全国 2018 年第 16、17 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

●第 16 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	339 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	26 例	パラチフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	13 例	A 型肝炎	17 例	オウム病	2 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	6 例
	レジオネラ症	13 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例	急性脳炎	5 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	14 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	47 例
	水痘（入院例）	7 例	梅毒	79 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	1 例	百日咳	72 例	風しん	4 例
	麻しん	13 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

麻しんの報告数は 13 例であった。沖縄県（8 例）、愛知県（3 例）、東京都（2 例）から報告があり、30 歳代（6 例）、10 歳代（5 例）、20 歳代（2 例）であった。

●第 17 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	344 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	28 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	16 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	3 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	6 例	レジオネラ症	12 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	69 例	水痘（入院例）	4 例	梅毒	68 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	78 例
	風しん	1 例	麻しん	12 例		

麻しんの報告数は 12 例であった。愛知県（6 例）、沖縄県（4 例）、埼玉県、東京都（各 1 例）から報告があり、30 歳代（7 例）、20 歳代、40 歳代（各 2 例）、1～4 歳（1 例）であった。第 1 週から第 17 週までの累積報告数は 102 例となり、沖縄県（67 例）、愛知県（11 例）、東京都（9 例）、埼玉県（6 例）が多い。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

●第 16 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週（第 15 週）比 118%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特にない。

●第 17 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週（第 16 週）比 105%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RSウイルス感染症の報告数は 1,184 人(0.38)で、前週(第 16 週)比 93%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.18)の約 2.1 倍である。沖縄県(2.7)、新潟県(1.2)、北海道(1.1)からの報告が多く、年齢別では 1 歳以下が全体の約 8 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第17週(04月23日～04月29日)

疾病名		第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	116	114	23	13	35	3	26	5		5	4
	定点あたり	1.97	1.93	1.44	1.30	5.00	0.60	5.20	0.83	0.00	0.83	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	20	21	7		3		1	4		5	1
	定点あたり	0.56	0.58	0.70	0.00	0.75	0.00	0.33	1.00	0.00	1.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	33	55	12	11	2	16	1	6		3	4
	定点あたり	0.92	1.53	1.20	1.83	0.50	5.33	0.33	1.50	0.00	0.75	4.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	74	122	18	24	17	4	2	7	1	9	40
	定点あたり	2.06	3.39	1.80	4.00	4.25	1.33	0.67	1.75	1.00	2.25	40.00
感染性胃腸炎	報告数	467	444	102	117	17	49	75	45	5	25	9
	定点あたり	12.97	12.33	10.20	19.50	4.25	16.33	25.00	11.25	5.00	6.25	9.00
水痘	報告数	24	29	5	6	2	2	5	9			
	定点あたり	0.67	0.81	0.50	1.00	0.50	0.67	1.67	2.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	145	187	50	17	29	37	7	37		1	9
	定点あたり	4.03	5.19	5.00	2.83	7.25	12.33	2.33	9.25	0.00	0.25	9.00
伝染性紅斑	報告数	3	2	1	1							
	定点あたり	0.08	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	48	10	8	10	3	1	7	1	7	1
	定点あたり	0.97	1.33	1.00	1.33	2.50	1.00	0.33	1.75	1.00	1.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	6		3	3						
	定点あたり	0.14	0.17	0.00	0.50	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	31	46	2	2		40				2	
	定点あたり	0.86	1.28	0.20	0.33	0.00	13.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	13	10	2	1						
	定点あたり	2.17	2.17	3.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4	5	2			1		1		1	
	定点あたり	0.57	0.71	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～17週)

2類感染症	結核	66例(5)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	20例(3)	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	1例	レジオネラ症	2例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例(1)	梅毒	1例
	播種性クリプトコックス症	2例	百日咳	61例(12)		

()内は今週届出分、再掲

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第18週(04月30日～05月06日)

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	114	42	12	4	17		1	7	1		
	定点あたり	1.93	0.71	0.75	0.40	2.43	0.00	0.20	1.17	0.50	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	21	14	8		3			2		1	
	定点あたり	0.58	0.39	0.80	0.00	0.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	55	38	15	4	3	7		7		2	
	定点あたり	1.53	1.06	1.50	0.67	0.75	2.33	0.00	1.75	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	122	60	17	12	4	3	2			7	15
	定点あたり	3.39	1.67	1.70	2.00	1.00	1.00	0.67	0.00	0.00	1.75	15.00
感染性胃腸炎	報告数	444	291	63	89	6	33	40	24	10	23	3
	定点あたり	12.33	8.08	6.30	14.83	1.50	11.00	13.33	6.00	10.00	5.75	3.00
水痘	報告数	29	13	4	1	3	1	1	2		1	
	定点あたり	0.81	0.36	0.40	0.17	0.75	0.33	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	187	188	62	18	46	21	1	22	7	4	7
	定点あたり	5.19	5.22	6.20	3.00	11.50	7.00	0.33	5.50	7.00	1.00	7.00
伝染性紅斑	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	48	23	10		2	4	2	1		3	1
	定点あたり	1.33	0.64	1.00	0.00	0.50	1.33	0.67	0.25	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	2		1	1						
	定点あたり	0.17	0.06	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	46	16			2	13		1			
	定点あたり	1.28	0.44	0.00	0.00	0.50	4.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	17	16		1						
	定点あたり	2.17	2.83	5.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	5	2	1							1	
	定点あたり	0.71	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～18週)

2類感染症	結核	66例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	20例	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)
	つつが虫病	1例	レジオネラ症	3例(1)		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例	梅毒	1例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例(1)	百日咳	77例(16)
	風しん	1例(1)				

()内は今週届出分、再掲